

2019 年度 WINGS-LST/GPLLI 海外研修 秋の募集要項

【趣旨】 WINGS-LST/GPLLI 海外研修とは、学生が自分自身で訪問先をアレンジして、海外の機関(産学官民)を訪問するための渡航支援の取組みである。自分の研究成果について発表を行い、各分野の一流の専門家からレビューを受けることにより、当該分野の国際コミュニティにおける自身の研究の立ち位置を確認し、研究へのモチベーションを高め、異分野を含めた将来の協力者が得られることが期待される。今年度は下記学生を対象に、海外研修の実施を支援する。

【対象者】 WINGS-LST または GPLLI に在籍する学生。過去に海外研修に参加したことがない学生を優先する。

【募集人数】 若干名程度

【実施期間】 2019 年 10 月 1 日～2020 年 1 月 31 日※の間に実施するもの
本プログラムにおいては、他の経費(運営費交付金、科研費等)から旅費が支給される海外出張等と合わせて実施することはできない。

【支援内容】 一人あたり 40 万円を上限として、エコノミークラス往復航空券代、宿泊費(実費)を支援する。学会参加費等その他参加にかかる費用については、WINGS-LST/GPLLI で認められ、かつ総額 40 万円の上限の範囲であれば支援する。また、総額 40 万円を超える分は各自が支払うこと。

【支援対象となる計画の要件】

1. 学生自らが企画するもので、海外の機関を訪問し、訪問先の研究者等から学生自身の研究内容のレビューを受けること。
2. 訪問先機関は最大 2 機関(ただし、国際学会の参加はこの中に含まない)までとし、
3. 渡航開始までに訪問許可を必ず得ること。訪問許可の得られない機関への渡航は原則認めない。
4. 原則 3 週間以内の計画とすること。
5. 計画の一部に、国際会議参加・発表を含んでもよい。ただし、当該参加・発表を主な目的とする計画は支援対象とはしない。
6. 外国人留学生が申請する場合には、自身の出身国・地域への渡航計画は認められない。

【応募・選考方法】 応募を希望する学生は、申請書類を応募締切日までに WINGS-LST/GPLLI 事務局へ提出すること。海外研修の選考委員会において選考を行う。

【応募締切】 2019年9月25日（水）必着

【申請書類】

1. 電子ファイルで提出するもの

- ① 申請書 <所定エクセル様式：署名前のもの>
<http://square.umin.ac.jp/wings-lf/curriculum.html>
- ② 海外派遣先の受入許可証、受入を同意するメール等の写し、コンタクト中のものは、そのメールの写し等。
- ③ 学会に参加する場合は、学会のホームページの写し等概要がわかる書類

【電子ファイルのアップロード先】

<https://www.dropbox.com/request/h4VZWatYrgLytA3LYtBd>

2. 紙媒体で提出するもの（※全てA4判で提出すること。）

- ① 申請書 <所定様式：署名されたもの>

【海外留学保険】 参加者は、渡航日から帰国日までの期間をカバーする学研災付帯海外留学保険「付帯海学」および同等の内容の海外旅行傷害保険等に各自必ず加入して渡航すること。費用については自己負担とする。

【留意事項】

1. 本プログラムの趣旨を理解の上、十分な成果を上げるように努めること。
2. 研究、本学の授業・試験期間、学務上の留意点、その他各自の予定等を十分確認したうえで、申請すること。
3. 参加学生は本学を代表する立場にあることを自覚し、渡航先の機関・国の法令、規則、規定、マナー等を遵守すること。
4. 本プログラム採用後、やむを得ない事情により、参加を辞退する場合には、速やかに WINGS-LST/GPLLI 事務局へ申し出ること。個人の事情による変更でキャンセル料等が発生した場合は、個人負担とする。
5. 本プログラム採用後、申請時からの計画変更がある場合には、再審査を行うことがある。また、支援対象となる計画の要件を満たさなくなった場合には、採用を取り消すことがある。
6. 採用者が、受給者として適当でない事実があったときは、採用を取り消すことがある。また、既に支給した旅費の全額又は一部を返納させることがある。
7. 結果通知から、プログラム開始までの準備期間が十分でない場合があるので、申請前から訪問機関との受入の調整や、必要な場合は渡航時のビザ取得準備等、事前に進めておくこと。

8. 航空券の手配は、原則として、WINGS-LST/GPLLI 事務局が行う。

【報告書の提出、報告会における発表】 本海外研修参加者は、帰国後2週間以内にレポートをホームページにアップロードすること（また、WINGS-LST/GPLLI が実施する報告会において、成果の発表を求めることがある。

【単位】 研修の完了と帰国後2週間以内のレポート提出により、実践演習/学外実習1単位を付与する。

【書類送付先、問合せ先】 WINGS-LST/GPLLI 事務局

Email: kjarnes@cnbi.t.u-tokyo.ac.jp

本郷キャンパス医学部1号館 S115